



## 開発援助事業

### インド 少数民族の識字教育および公立学校への就学促進

オリッサ州において、2000年より実施してきた少数民族ドンゴリア・コンドに対する教育プロジェクトを継続実施しました。以前公立学校へ行ったことのある青年を教師として訓練し各村で夜間を中心に行う識字教育、および寄宿制公立学校への就学支援の二本立てで、現在では村の子どもの25%が公立学校に通うようになり、あとの75%が本プログラムの非正規識字教育を受けています。今ではそのプログラムを受けた若者たちが各村のリーダー格となり、教育に対する思いも非常に高くなっています。



### インド 少数民族の保健衛生

1996年のインド支援開始当初からのプロジェクトで、オリッサ州の少数民族を対象に、妊婦・新生児・乳幼児の死亡率の減少、日常的な軽い怪我や病気の対処方法の改善、保健ワーカーの村への定期的訪問を主に実施してきました。2014年からはプロジェクト対象者に対する栄養補給を目的として鶏の飼育を開始し、本年度は栄養補給食の配布も実施、出産後の妊婦・出産児の死亡率を7%台まで減少させることができました。



現在はさらに、出産キットの配布、伝統的な病気予防の知識の普及、薬草の栽培と効用の研修、子供たちに対する保健教材での啓蒙と薬の配布、初期医療知識の啓蒙、家庭菜園での栄養野菜の栽培訓練と種の配布、それに州政府による予防接種の受診の啓蒙等を総合的に進めています。

### フィリピン 山岳民族と女性の自立支援

3年間バターン州にて実施してきた山岳民族アエタへの水供給プロジェクトの最終年として、井戸から各家庭につながるパイプと接続部品および使用量を計るメーターを購入して設置し、住民に対して、補修方法、使用料回収システムの構築、組織運営のトレーニングを行いました。

本プロジェクトには地元行政府であるオリオン町が大型の井戸用タンクの追加支援を行ったため、従来のタンクでは届かなかった家庭にも水が届くようになっています。

## フィリピン 女性のエンパワーメント

フィリピンの6州で、ジェンダーと開発（GAD）プロジェクトの一環として、それぞれの女性組織によるさまざまな小規模生計向上プロジェクトの支援を行いました。

マリンデュケ州では魚肉のすり身生産、ケソン州ではウコン・モリンガ栽培と乾燥品販売（右写真）、ヌエバエシハ州では養豚、バターン州では魚の燻製生産、カマリネス・ノルテ州ではハーブ園の立上げ、カマリネス・スル州では特産品の開発を実施中です。



## フィリピン 東サマール州小規模生計支援



2013年11月の台風ヨランダ被災者に対する復興支援の一環として2014年より行ってきた組織化プロジェクトにより活動を開始した女性組織を支援しています。女性組織はそれぞれ工夫を凝らした独自の小規模生計向上プロジェクトをスタートさせ、生き生きと活動を行っています。

サントニーニョ村で養豚（左写真）および魚干物づくり、バッカオ村で養豚および精肉、ギゴソ村で野菜や日用品を売るための組織による小規模商店の設置を行い、各組織メンバー30人～60人が協力し合って活動を進めています。

また、男性主体の漁民組織の組織化支援と、海藻プロジェクトオリエンテーションも実施しています。

## インドネシア プロジェクト調査

東ロンボク県スカララ村の住民グループに協力できる可能性を探るため、現地を訪問し、村で実施されている小規模事業を視察し意見交換を行いました。

### 開発教育事業

### 学習会

5月3日、白井隆一郎氏（「コーヒーが廻り世界史が廻



る」中公新書)を講師として、奴隷制やイスラム世界の歴史と関連づけたコーヒーの歴史を学びました。

## 講師派遣

6月11日、鎌倉女学院高校の国際セミナーの一環として、高校生に対しオリジナルワークショップ「24人にインタビュー」を実施しました。

6月30日、かながわ人権センター主催の人権学校の一環として、自治体の人権担当職員等に対して「24人にインタビュー」と、それに接続させたSDGsについての講義を実施しました。



## 広報活動

### ニュースレター発行

ニュースレター「ぴいぷる2」のNo76、No77を発行しました。

### イベント出店

4月29日の神奈川中央メーデーおよび10月8,9日のよこはま国際フェスタに出店しました。国際フェスタでは高校生ボランティアの協力を得て(右写真)フェアトレード品とリサイクル品の販売を行いました。



5月の鎌倉路地フェスタに参加して、鎌倉市内の運営委員宅にてアグス・ムリアワンの写真展、東ティモールコーヒーなどのフェアトレード品の販売を行い、草の根援助運動現地連絡員として活動するかたわらアジア・プレス記者として活躍し、東ティモールで殺害されたアグス・ムリアワンの足跡をたどる企画を実施しました。



### ネットワーク活動

以下の団体・ネットワークと連携し、情報の受発信、各種活動を共同で行ないました。

横浜NGO連絡会、神奈川人権センター、かながわ憲法フォーラム  
WE21ジャパン、WE21ジャパンかなざわ、WE21ジャパンこうほく

会計

収入	合計 (円)
<b>1.会費収入</b>	<b>645,779</b>
運営委員会費収入	156,000
株主会費収入	464,000
P2カード 会員収入	25,779
<b>2.寄附金収入</b>	<b>3,298,998</b>
運営資金収入	177,969
援助金収入	2,186,029
一般援助金収入	35,000
プロジェクト外援助金収入	900,000
<b>3.事業収入</b>	<b>182,300</b>
開発教育関連事業収入	182,300
<b>4.雑収入</b>	<b>445</b>
受取利息	445
<b>当期収入合計</b>	<b>4,127,522</b>

支出	合計 (円)
<b>1.プロジェクト外支出</b>	<b>2,458,811</b>
インド識字教育	108,800
インド保健教育	642,432
フィリピン東マニラ生計	755,907
フィリピン女性生計	317,432
フィリピン山岳民族	634,240
<b>2.事業費</b>	<b>602,562</b>
学習会事業	10,000
ニュースター発行	122,675
イベント受入事業	226,557
講師・委員派遣事業	20,000
イベント事業	21,080
ネットワーク活動事業	185,500
アグス記念事業	16,750
<b>3.管理費</b>	<b>543,032</b>
業務委託費	122,772
旅費交通費	71,073
通信運搬費	73,533
消耗品費	4,563
印刷製本費	49,189
水道光熱費	32,828
支払地代家賃	186,000
支払手数料	944
租税公課	1,050
雑費	1,080
<b>当期支出合計</b>	<b>3,604,405</b>
当期増減額	523,117
前期繰越額	5,325,050
<b>次期繰越額</b>	<b>5,848,167</b>